

パティオ



①大会会場の雰囲気 ②地震発生、身の安全を図りつつ、館内放送を実施 ③火災の確認を指さし呼称
④負傷者に対する AED 実施 ⑤火元消火 ⑥優勝旗とともに（病院にて）

平成 30 年度板橋区自衛消防操法大会への参加について

火災が発生したら、消防隊が来るまで、職員（自衛消防隊員）が建物内に設置してある屋内消火栓設備を使用し、初期消火に対応する必要があります。

その操作に慣れてもらうことを目的とし、一連の動作と技術を確認し、相互に競い合うのが、自衛消防操法大会です。

板橋消防署では、例年秋口頃に、板橋区立東板橋公園少年野球場にて自衛消防操法大会を開催しています。

当院は例年参加しており、今年も9月11日に開催された大会に、男性隊・女性隊ともに2号消火栓※の部で参加しました。

板橋区内の店舗・施設等が参加し、2号消火栓の部で

は計8隊が出場しました。結果、女性隊は優勝し、男性隊は優良賞となりました。（女性隊：薬剤師・看護師、男性隊：看護師・防災センター職員）

操法では指先まで機微な動きが求められますが、細かい箇所まで意識し、何度も繰り返して訓練することで、動きが身につきます。有事の際にはこの訓練が役立つこととなります。

今後も操法大会に参加し、院内の災害対応力向上に取り組んでまいります。

（※屋内消火栓には、放水圧力、放水量及び操作性によって区分される1号・2号といった複数の種類があります。当院では1人でも消火活動ができる2号消火栓を設置しています。）

大規模災害訓練のお知らせ

豊島病院は東京都災害拠点病院に指定されています。

平成30年10月5日（金）午後2時から、東京湾を震源とするM7の地震を想定した「大規模災害訓練」を板橋消防署や板橋看護専門学校と協力して行います。

皆さまのご理解・ご協力をお願いいたします。



豊島病院 予約センター 03-5375-5489（紹介予約制）

予約受付時間 平日9時00分～19時00分 土曜日9時00分～12時00分

「超音波外来」をはじめました

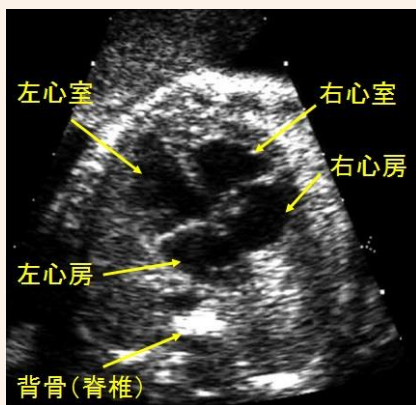
産婦人科部長 坂巻 健

豊島病院ではこれまでも周産期医療に力を入れており、昨年も約 800 人の妊婦さんが当院で出産なさいました。産科外来では、妊婦さんに安全に、かつ安心して妊娠生活を送っていただけるよう、多職種のスタッフが様々な取り組みをしています。

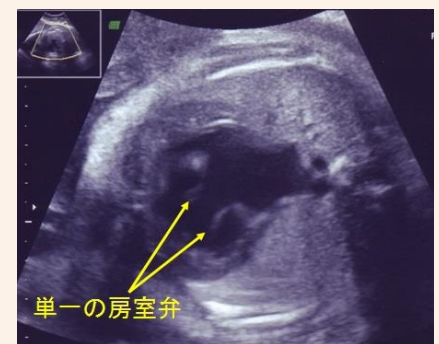
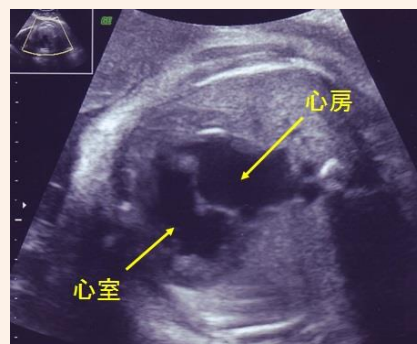
今回その一つとして、おなかの中の赤ちゃんに異常がないかを詳しく調べる「超音波外来」をはじめました。

赤ちゃんのなかには生まれつきの異常を持って生まれてくる子がいます。赤ちゃんが 100 人生まれると、だいたい 4 人前後には生まれつきの異常があるといわれています。

最も多いのは心臓の異常で、100 人生まれると 1 人くらいは心臓に異常があるとされています。



正常な胎児心臓



異常な胎児心臓・・・本来 2 つずつあるはずの心房と心室がそれぞれ 1 つずつしかない単心房単心室という先天性心奇形です。心臓の異常には様々な種類があり、いずれも胎児期の診断が重要になります。

これまでも産科外来では、妊娠 20 週前後で赤ちゃんに異常がないか超音波で確認していましたが、現在は少しでも気になる場所があれば「超音波外来」で精密検査を行っています。

心臓だけでなく、顔や手足、他の臓器の異常がないかも診ていますし、発育に問題のある赤ちゃんについても詳しく診ています。

ただし、担当の先生から「次は超音波外来で詳しく診ます」と言われても心配しないでください。詳しく調べたら正常で問題ないこともよくあります。きちんと調べるのが大切で、それが安心して妊娠生活を送っていただくことに繋がると考えています。

妊娠中はいろいろ不安になることも多いと思います。おひとりで心配せずに、いつでも気軽にわれわれ産科スタッフにご相談ください。

われわれは今後もお母さんと赤ちゃん、ご家族を大切にケアしてまいります。



誌名である「パティオ」はスペイン語で中庭のことで、当院 1 階にある患者さんや職員にとっての憩いの場所です
公益財団法人東京都保健医療公社 豊島病院 <http://www.toshima-hp.jp> 東京都板橋区栄町 3 3 - 1
(病院代表) 03-5375-1234 (予約専用) 03-5375-5489
豊島病院広報誌第 94 号 発行者：安藤 昌之（豊島病院副院長） 編集：企画係

